

令和6年度 第1回市制施行100周年記念絵本制作委員会議事録

1 開催日時及び場所

令和6年7月31日（金）14:00～16:30

宇部市役所5階 第2委員会室

2 出席者

委員

山本安彦（委員長）、安井敬子、脇彌生、林直子、堀宏治
市

古林学（総合政策部長）、田中弓子（市史編さん室長）、

竹原よしえ（同室）、唐沢陽司（同室）、植野麗子（併任：学びの森くすのき館長）、

石川健（併任：学びの森くすのき）、北野瑞貴（併任：同館）

受託業者

株式会社 ポプラ社

3 議事

(1) 絵本の校正について

(2) その他

4 別添資料

ラフ画（案）【非公開】

5 会議要旨

開会 委員長あいさつ 事務局紹介	
議事 (1) 絵本の校正について	
事務局・ ポプラ社	○前回の委員会で委員から出された主な意見を紹介。 これらの意見等を踏まえながら、ポプラ社が制作したラフ画（下書き）案をページごとに説明。委員には、絵を中心に見ていただく。
委員・ ポプラ社	○ページごとの委員からの気づきや質問に対し、ポプラ社から制作意図や回答がなされた。 ・絵本を縦長サイズにした理由は。 →オーソドックスなサイズの方が受入れやすく、視覚的にも入りやすいため。 ・表紙が大事

	<p>→表紙の絵はインパクトのあるものをと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵を見て、この人は何をしているかわかるようにしてほしい。 <p>→ラフ画なので、実際はもっと描き込んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵を見ながら、発見のある絵だといいい。 <p>→すべてのページに案内役の2人がいて、見つけ出す発見がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炭鉱では、実際にこのように掘っていたという絵が入った方がわかりやすいのではないか。 <p>→資料編での説明も必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵で載せるか、資料編の方に載せるか。 <p>→事務局で判断。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めくって終わる、ではなく、未来を生きる子どもたちに期待するような、前向きなメッセージを。 ・基本は絵で語らせて、資料編で説明するという形の方がいい。 ・カバー裏、見返し紙や奥付などの部分も活用を。 <p>→検討する。</p>
(2) その他	
委員・事務局・ポプラ社	<ul style="list-style-type: none"> ・ラフ画について、気づきや修正等があれば8月初旬までに事務局へ送付いただくことを委員にお願いする。
事務局	<p>○今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員からの気づき等を取りまとめ、事務局からポプラ社へ送付。さらに修正し、ラフ画完成を目指す。次回、委員会は、ラフ画完成時に改めて日程を案内する。
事務局	<p>以上で、第1回市制施行100周年記念絵本制作委員会を閉会する。</p>